

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念「一人一人の生活を尊重し、いつまでも心豊かな暮らしが行えるよう、介護、医療を提供します」の浸透を図ってきたが、それを一人一人のケアに反映できるようにしていく必要がある。	理念に基づいたその人らしいケアの実践ができる	①定期的なカンファレンス以外でも変化や発見があるときには、カンファレンスを行う ②職員皆が情報を提供しあい、共有しケアの方法を決定していく	12ヶ月
2	33	開設当初は元気だった入居者様も徐々に介護度があがってきている。重度化した場合の、職員の身体介護の技術が現在では不足している感がある	適切な身体介護の技術を身に付けることができる。	①院内外の研修に積極的に参加する(年2回) ②身体介護の方法に悩むときは、院内のPTと連携をとり、適切な評価及び介助方法を指導してもらう	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。